

事務事業名	配食による見守り活動推進事業		所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	高齢者福祉G	課長名	熱田 小百合
	施策名	〈21〉高齢者福祉の充実		担当者名	高橋 雄司	電話番号	40-1042 (内線) 2151
	目的対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。			
	基本事業	〈060〉地域ケア体制の充実		予算科目	0:1:15:0:8 0:5:6:7:0:1	大事業名	地域自立生活支援事業 中事業名 ネットワーク形成事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
65歳以上の者等	地域における見守り活動を推進するとともに、高齢者等の食の自立を促す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H30 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	社会福祉法人等が実施する配食サービスを支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
週1日以上、高齢者等の食の自立を促す弁当を届けることにより当該者の見守りを行う事業を実施する法人、地域自主組織に事業費の助成を行う。	地域自主組織や社会福祉法人等のみなさまに栄養改善や食の自立につながる弁当を担保しつつ、より地域の見守りが充実するよう検討をいただいた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 当該助成制度による配食サービス利用者数	人	207	181	173	185
イ 当該制度により地域の見守りを行った地域自主組織数	組織	11	12	11	14
ウ 上記、地域の見守りの対象となった者数	人	47	43	48	71
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
補助金	10,553千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
【その他財源】 地域支援事業受託料 10,553千円			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	10,285	10,782	10,553	11,859
			一般財源	千円				
		事業費計	千円	10,285	10,782	10,553	11,859	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	見守り活動により高齢者が地域で安心して生活ができるようになっている。配達ボランティアによる安否確認や急変等の発見で関係機関と連携して対応することができている。事業実施あるいは社会福祉協議会との連携により地域での見守りを実施する地域自主組織が増えることにより地域での見守りがより充実する。
② 事業実施するうえでの課題	助成単価の妥当性を検証し、適正な助成額となるよう検討が必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	助成単価の妥当性を検証し、適正な助成額となるよう検討が必要である。